

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名 株式会社 フォワード
住所 浜松市東区市野町570-1
電話番号 053-435-0567

事業所番号 2217220181
管理者名 千葉 恵理子
対象年度 令和3年度

(I) 労働時間
①1日の平均労働時間が7時間以上
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満
⑧1日の平均労働時間が2時間未満
55点

(II) 生産活動
①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上
40点

(III) 多様な働き方（※）
①就業規則等で定めている
②利用者を職員として登用する制度
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律
④フレックスタイム制に係る労働条件
⑤短時間勤務に係る労働条件
⑥時差出勤制度に係る労働条件
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度
⑧傷病休暇等の取得に関する事項
25点
小計（注1） 6点

(IV) 支援力向上（※）
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会
②研修、学会等又は学会誌等において発表
③視察・実習の実施又は受け入れ
④販路拡大の商談会等への参加
⑤職員の人事評価制度
⑥ピアサポーターの配置
⑦第三者評価
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等
35点
小計（注2） 8点

(V) 地域連携活動
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している
10点

項目 点数
労働時間 55
生産活動 40
多様な働き方 25
支援力向上 35
地域連携活動 10

合計 165点 / 200点

(※) 任意の5項目を選択すること (注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(※) 任意の5項目を選択すること (注2) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績 I～IV）

(I) 労働時間

前年度（ 30		
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	26,906	時間
雇用契約を締結していた延べ利用者数	5,377	人
利用者の1日の平均労働時間数	5	時間

(II) 生産活動

会計期間（ 9		
前々年度（ R2		
生産活動収入から経費を除いた額	28,477,875	円
利用者に支払った賃金総額	23,869,163	円
収支	4,608,712	円
前年度（ R3		
生産活動収入から経費を除いた額	29,326,118	円
利用者に支払った賃金総額	26,263,449	円
収支	3,062,669	円

(III) 多様な働き方

前年度（3年度）における実績（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

① 免許・資格取得、検定の受検勤奨に関する制度

◎ 免許・資格取得、検定の受検勤奨に関する制度を活用した人数 名

※ 取得を進めた免許等

制度の活用内容

② 利用者を職員として登用する制度

◎ 職員として登用した人数 名

◎のうち1名は雇用継続期間が6月に達している

◎のうち1名は前年度末日まで雇用継続している

※ 登用した日 年 月 日

勤務形態

就業時間： 時 分～ 時 分

職務内容

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎ 在宅勤務を行った人数 名

※ 実施した期間： 月 日～ 月 日

就業時間（在宅勤務）： 時 分～ 時 分

職務内容

④ フレックスタイム制に係る労働条件

◎ フレックスタイム制を活用した人数 名

※ 実施した期間： 月 日～ 月 日

就業時間（コアタイム）： 時 分～ 時 分

職務内容

⑤ 短時間勤務に係る労働条件

◎ 短時間勤務に従事した人数 名

※ 実施した期間： 月 日～ 月 日

就業時間（短時間）： 時 分～ 時 分

職務内容

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

◎ 時差出勤制度を活用した人数 名

※ 実施した期間： 月 日～ 月 日

就業時間（早出の場合）： 時 分～ 時 分

就業時間（遅出の場合）： 時 分～ 時 分

職務内容

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎ 時間単位取得を活用した人数 23 名

◎ 計画的付与制度を活用した人数 名

※ 取得した制度 有給休暇の時間単位取得 計画的付与制度

取得した期間： 4月 1日～ 3月 31日

取得日数・時間 日 時間

↓ 952.5

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

◎ 傷病休暇等を取得した人数 名

※ 取得した内容

取得した期間： 月 日～ 月 日

就業時間： 時 分～ 時 分

職務内容

(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(IV) 支援力向上

前年度（3年度）における実績（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎ 研修計画を策定している

◎ 研修実施回数 外部 12

対象職員数 5 人

うち研修受講者数 4 人

※ 研修名 精神障がいを理解するための研修会

研修講師 玉松 信雄

実施日・受講者数 12月 10日 1人

② 研修、学会等又は学会誌等において発表

◎ 研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 回

※ 研修、学会等名

実施日 月 日

※ 学会誌等名

掲載日 月 日

発表テーマ

③ 視察・実習の実施又は受け入れ

◎ 先進的事業者の視察・実習の実施している

◎ 他の事業所の視察・実習を受け入れている

※ 先進的事業者名 丸八真緒クリーニング

実施日/参加者数 7月 9日 3人

※ 他の事業所名 糊ミダック

実施日/参加者数 7月 27日 2人

④ 販路拡大の商談会等への参加

◎ 販路拡大の商談会等への参加回数 7 回

※ 商談会等名 新規作業の受注の打ち合わせ

主催者名 事業所 浜松市協働センターハートナッシュ

日時 9月 4日

内容 浜松磐田信用金庫の方が、YouTubeで会社のフローと販路について説明してくれた。

⑤ 職員の人事評価制度

◎ 職員の人事評価制度を整備している

◎ 当該人事評価制度を周知している

人事評価制度の制定日 2年 4月 1日

人事評価制度の対象職員数 3 名

うち昇給・昇格を行った者 1 名

当該人事評価制度の周知方法 書面

⑥ ピアサポーターの配置

◎ ピアサポーターを配置している

◎ 当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している

※ 配置期間 月 日～ 月 日

就業時間

職務内容

⑦ 第三者評価

◎ 前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている

※ 評価を受けた日 月 日

第三者評価機関

⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている

※ 認証を受けた日 月 日

規格等の内容

(※) 実績のうち1事例を記載




各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	株式会社フオーワード
住所	浜松市東区市野町570-1
電話番号	053-433-0567

事業所番号	2217220181
管理者名	千葉 恵理子
対象年度	令和3年度

地域連携活動の概要

<活動内容>	<活動の様子>
<p>利用日において毎日の作業。浜松市他近隣の企業・学校・保育園・介護、福祉施設・地域子供会・近隣住民・・・などから回収した飲料器（アルミ缶・スチール缶・ペットボトルなど）を選別している。選別して圧縮された資源物の商品は、国内外に出荷される。</p>	
<p><目的></p> <p>この国は、大量生産・消費型社会であり、多くの物を生み出して生活は豊かになった。しかし、地球温暖化や資源の枯渇が大きな問題となっている為に、利用者の手で資源物を選別して環境と調和した循環型社会の構築を図る為に資源を商品化している。</p>	
<p><成果></p> <p>利用者の手で資源物を分別して商品化する事で、循環型社会となり、世界的に脱プラスチックが盛んになっている運動の一員となっている。又、アルミ缶・スチール缶・瓶も優良なリサイクル品となっている。ペットボトルのキャップは、*「世界の子供にワクチンを」に寄付してワクチン作りと、浜松市の障害福祉施設に現金化して寄付をして役立てて頂きたいと思います。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

近年、飲料器のリサイクルが問題となっている。地球環境もあり飲料器をリサイクル商品とする事により、会社としての評価アップとなっている。世界的、脱プラスチックが進んでいるが、ペットボトルは優良プラスチックと言う事もあり、近年ボトルTOボトル化が進みリサイクルの需要がより多くなった。ペット・アルミ・スチール缶の売り単価が上がっているため売上も伸びている。地域密着もあり、リサイクルへの関心も高まっているので、地域や循環型社会に貢献できる様に5Sの意識を高めて頑張りたいと思います。

	有限会社 遠州リサイクルセンター	担当者名	朝平 憲蔵
--	------------------	------	-------